

令和6年度 新座市立第四中学校 学校経営方針

1 学校教育目標

「夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校」

○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○たくましい生徒

2 目指す学校像

- 必要な資質や能力を、確実に身に付けられる学校
- 保護者や地域の期待に応え、信頼される学校
- 教職員が誇りと働き甲斐を持って勤められる学校

3 生徒に身に付けさせたい資質や能力

- (1) 好奇心を持って物事にに関わり、自分を伸ばそうとする意欲
 - (2) 各教科の基礎的な知識や技能
 - (3) 日常生活や社会の動きに関心を持ち、関わろうとする意欲
 - (4) 身に付けた知識や技能、経験を基に、自分で判断する力
 - (5) 多様な人々と関わり合い、協働するための力
 - (6) 生活や社会をより良くするための、新たな価値を創造する力
 - (7) 礼儀や気持ちのよい挨拶、優しさ、思いやり
 - (8) 健康に過ごすための知識や、望ましい生活習慣
- 【確かな学力】
- 【豊かな人間性】
- 【健康・体力】

4 目指す生徒像

- (1) 何でもやってみよう、考えてみたい、と前向きに取り組む生徒
- (2) 各教科の学習内容を、確実に身に付けようと努力する生徒
- (3) 身の回りや世の中の出来事に目を向け、自分なりの考えを持つ生徒
- (4) 難しい課題でも、持っている力を発揮して解決しようとする生徒
- (5) より大きな力を発揮するため、誰とでも協働することのできる生徒
- (6) 日常生活や社会がより良くなるような、工夫やアイデアにあふれる生徒
- (7) 場に応じた礼儀や明るい挨拶を身に付け、優しさや思いやりを持った生徒
- (8) 正しい知識に基づき、よい生活習慣を身に付けた生徒

5 目指す教師像

- (1) 好奇心旺盛で、生徒の知的好奇心を刺激できる教師
- (2) 授業がより良くなるように、常に工夫や研究を重ねる教師
- (3) 広く世の中に関心を持ち、社会に参画する意識を持った教師
- (4) 様々な活動場面で、生徒に達成感を味わわせることのできる教師
- (5) 調整者や促進者の視点で、生徒の協働的活動を支援できる教師
- (6) 生徒の特性や個性を理解し、個々の持つ能力を発揮させられる教師
- (7) 礼儀や明るい挨拶を身に付け、優しさや思いやりを持った教師
- (8) ワークライフバランスを保ち、はつらつとした教師

6 目指す姿の具現化に向けて ～学校経営の重点～

- (1) 授業改善の推進による学力の向上

- (2) 生徒の主体性の育成
- (3) 教職員の自己有用感とメンタルヘルスの維持向上
- (4) 地域や社会との連携の推進

7 目指す姿の具現化に向けて ～具体的な方策～

(1) 授業改善の推進による学力の向上

- 生徒が主体的に参加し、思考を深める密度の高い「50分間」の授業実現に向けた、新座市教育委員会委嘱研究の推進
- ・ 教員が「主体的・対話的で深い学び」の趣旨を十分理解し、授業づくりに活かすための研修機会の設定
- ・ 単なる「ICT機器の使用」を目的とせず、授業の質的向上に向けた、Chromebook や電子黒板など各ICT機器の効果的な活用のための研究推進

(2) 生徒の主体性の育成

- 令和4年度から見直しを進め、令和6年度から本格運用する新たな「生活のきまり」の取組継続による、生徒の主体性の育成や自治力の向上
- ・ よいコミュニケーションの基本となる、明るい挨拶の定着
- ・ ねらいを明確にした学校行事の実施

(3) 教職員の自己有用感とメンタルヘルスの維持向上

- 引き続き業務の精選と効率化を進めつつ、そのみに主眼を置くのではない「働き方改革」の推進
- ・ 教職員一人一人が、自身の「授業力向上」や生徒の「成長や変容」を実感することで「やりがい」を感じられ、心身ともに健康な状態で働ける職場環境づくりの推進
- ・ 教職員相互が高め合い、支え合える組織風土の醸成

(4) 地域や社会との連携の推進

- 学校運営協議会の活性化
- ・ 地域の人的・物的リソース（資源）の有効活用
- ・ 新座市役所など、行政機関の積極活用

8 特色ある学校づくりの推進

(1) 学校HPの充実

- ・ 1日1トピックの「校長室より」
- ・ P T Aのページ開設

(2) 地域行事への参加

- ・ ふれあい地域連絡協議会
- ・ 柳瀬川ふれあい祭り
- ・ ふれあい防災キャンプ
- ・ 大江戸新座祭り
- ・ 大和田公民館まつり

(3) 学校応援団の活性化

- ・ 本の読み聞かせ